

農家の皆さんへ

開設のススメ

農業体験農園

農家と地域でつくる
農業の新しいスタイル



農業体験農園を開設してみませんか

農業 体験農園 とは…

農家が開設し、
農園主の指導により、
年間を通じて本格的な
野菜作りを行う
体験型農園です。

メリット 1 安定した農業収入が 得られます

利用料は入園料と収穫される野菜の代金の2つから成り立っています。

農業体験農園は1年を通して、野菜を全量買ってもらう契約を利用者と結び、開始当初に現金収入を得ることができます。



メリット 2 農作業の省力化が できます

播種・定植・病虫害防除・除草・施肥さらに収穫までの一連の農作業を利用者が行うため省力化ができます。

メリット 3 地域に農業の 応援団が誕生

農作業を通じて地域住民の農業理解が深まります。



メリット 4 税制の特例が継続します

税制の特例が継続します

農業体験農園は相続税納税猶予制度を受けることができます(個別に税務署の判断は必要です)。

園主の役割



利用者の募集



契約書などの
作成



作付品目・計画の
決定



種や苗、
農具等の準備、
施設の整備

農業体験農園と市民農園は

どこが違うの？

| | 農業体験農園 | 市民農園 |
|--------------|--------------------------------|-------------------|
| 園主と利用者との土地貸借 | なし | あり |
| 作付け計画 | 園主が作成 | 利用者の自由 |
| 種苗・農具等 | 園主が準備 | 利用者が準備 |
| 栽培指導 | 園主が指導 | なし |
| 収穫物の帰属 | 園主に帰属し 利用者に販売 (利用料に含まれる) | 利用者に帰属 |
| 交流の場 | 利用者同士の 交流の場生まれる | 特にない 利用者の都合による |

5



農作業の指導

もし

農作物が上手に
育たなかったら？

利用者は作付けした農産物が
すべてスーパーで売られて
いるような品質で作れる
ものではないことを
農業体験農園の経験
で学びます。



ちょっと

人前で教えることや
説明するのが不安

まず実際に作業を見てもらうことが
重要です。
園主の個性が
農園の魅力に
つながります。



農業体験農園の1年

Start!

前年 **10月→2月**

農業体験農園の準備

開設する農園の整備をします。地域の状況や畑の形状により、様々な手法があります。情報を収集しましょう。

前年の暮れ **1月**

利用者の募集開始

利用者の募集には、区市町村の広報への掲載やパンフレットの配布、SNS利用も効果的です。

1月

作付け計画の作成

年間の作付け計画を作成し、必要な種苗の手配をします。

翌年 **1月**

新しい年への準備

作付け計画・講習会日程の作成や種苗の手配など、新たな年の農作業計画を立てます。土壌の確認や畑の整地を行います。

12月

契約継続の希望確認

利用者の継続希望を確認。空いた区画数分を区市町村の広報などで追加募集します。

11月

実りを満喫

この時期、利用者は収穫に大忙し。園主にとっては一段落。

10月下旬

収穫祭も一大行事

収穫の喜びが共有でき、園主と利用者の絆も深まります。

8月下旬→10月上旬

秋冬野菜の講習会

秋冬野菜の植え付けなどを行います。利用者もかなり農作業に慣れてきます。

2月

利用者との契約

利用者を決定し、契約書を交わします。

3月

春夏野菜の講習会

準備が整い、第1回目の講習会。ジャガイモは農園でも人気のある作物です。およそ3月上旬に始まります。

4月→5月

農作業で賑わう農園

夏野菜の植え付けなど、一番忙しい時期を迎えます。余裕のある作業日程が良いようです。

5月

交流会の開催

農作業が一段落したら交流会をします。利用者同士の会話も弾みます。

6月→7月

収穫の最盛期

利用者には収穫の適期を知ることが意外と難しいようです。

GO!

暑さ対策を!

契約書記載項目例

- ☒ 目的
- ☒ 対象農地(利用区画番号等)
- ☒ 農作業の実施等
- ☒ 農産物の帰属
- ☒ 料金の支払い
- ☒ 契約期間(契約更新)
- ☒ 契約解除の条件と料金の返還
- ☒ 反社会的勢力の排除 など

園主と利用者のやりとり



春の講習会日程表例

| | |
|----------------|--------------------------------------|
| 3月1日 ± | 植え付け・播種 ジャガイモ(区画外)・リーフレタス・ルッコラ・カブ |
| 3月15日 ± | 播種 大根・落花生・ツルナシインゲン |
| 3月22日 ± | 播種 ズッキーニ・トウモロコシ(第1回目)・枝豆(第1回目) |
| 4月5日 ± | 植え付け・播種 里芋・トウモロコシ(第2回目)・枝豆(第2回目) |
| 4月19日 ± | 植え付け トマト・ピーマン・ナス・キュウリ |
| 7月末頃 | 春夏野菜の作業終了/秋作の準備へ |

point

講習会や畑で伝えること

- 旬や作付けの基本
- 道具や肥料・農業の使い方
- 園主の想い など

農園 イメージ

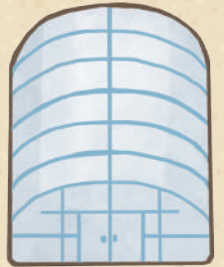
野菜残渣
置き場



農地



ビニールハウス



春の作付け計画書 例

250cm×1,100cm・1畝70cm・通路60cm



洗い場



水道



トイレ



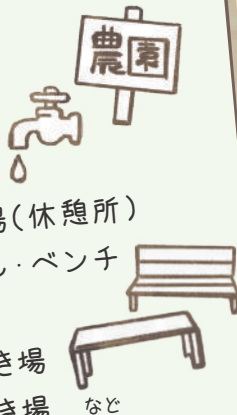
堆肥置き場



準備するもの

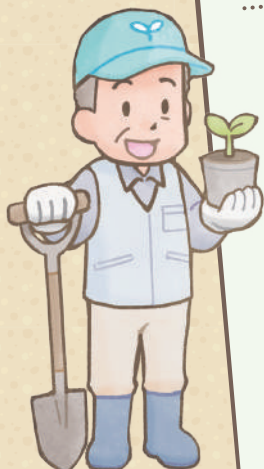
必要な施設

- 入口看板
- 水道
- トイレ
- 農具庫
- 講習会場(休憩所)
- テーブル・ベンチ
- 掲示板
- 堆肥置き場
- 残渣置き場 など



用意したい農具

- 鍬
- 草カキ
- バケツ
- ジョウロ
- スコップ
- 噴霧器
- 鎌
- レーキ(トンボなどでも可)
- 農薬タンク など



● 農業体験農園開設相談はこちらへ ●

〒151-0053

東京都渋谷区代々木3-25-3

あいおいニッセイ同和損保新宿ビル10階

一般社団法人 東京都農業会議



HP

[開設時間] 9:00~17:00

土曜日、日曜日、祝日ならびに12月29日~1月3日を除く

[申込方法] ホームページ内のお問い合わせフォームか
下記に記載の電話・FAXからご連絡ください。

TEL 03-3370-7145 FAX 03-3379-7627

URL <https://nougyoutaikennouen.tokyo>

Mail tkne@nougyoutaikennouen.tokyo



お問い合わせ

農業体験農園開設に関する支援

東京都

未来に残す東京の農地プロジェクト

区画割、土留め・フェンス、防塵ネット、農機具置き場、防災兼用農業用井戸、研修・実習に用いる施設（パイプハウス等）の整備等



東京農業経営強靱化事業

パイプハウス等生産施設（改修含む）、流通・販売施設、農業機械の整備等



(公財)東京都農林水産振興財団

チャレンジ農業支援事業

- ・専門家派遣
- ・農園パンフレット作成、看板等デザイン費、HP製作費等の経費助成



区市町村独自の補助事業がある場合があります。
お住まいの区市町村へお問い合わせください。



特定非営利活動法人

全国農業体験農園協会

農業体験農園の
開設・運営に協力しています🤝

入会後に受けられるサービス

1. 契約書・作付け計画書の作成
2. 協会HPへ農園情報の掲載
3. 農園視察や研究会等の開催 など

URL

<https://nouenkyoukai.com>

Mail

information@nouenkyoukai.com



1

誰でも(どんな農家でも)開設し、運営できますか？

園主の個性や畑の状況に応じた農園経営が可能です。
運営スタイルは自由です。

2

開設運営に大きな投資が必要ですか？

開設時に施設や農具の準備等の初期投資は必要ですが、その後の投資は抑えられます。
東京都等の補助を受けられる場合もあります。

3

どれくらいの農地が必要ですか？

1区画の大きさは自由に決められます(1区画15~30㎡で開設する農園が多いです)。農地の一部のみでも開設することもできます。

4

貸借した農地などでも開設できますか？

都市農地貸借円滑化法により借り受けた農地や、相続税等納税猶予制度の適用を受けた農地でも開設できます。

5

営農条件が悪い農地での開設は無理でしょうか？

日陰になる場所には講習会場や休憩施設を設置したり、植える作物を工夫するなどにより開設が可能です。
農地の形状が悪く区画割ができなくても、共同区画にする方法もあります。

6

利用者はどのように集めるのですか？

多くの農園は区市町村の広報やHPで募集しています。
チラシの配布、HPやSNSにより情報を発信する園主もいます。地域の口コミも効果があります。